

# 10万組の親子から見えはじめた子どもの健康環境



第4回 子どもの健康と環境に関する全国調査

## エコチル調査 シンポジウム

2015年1月25日(日) 14:00~16:10 日本科学未来館 7階 未来館ホール

主催:  **環境省**  
Ministry of the Environment

協力:  独立行政法人  
**国立環境研究所**

 独立行政法人  
**国立成育医療研究センター**  
National Center for Child Health and Development

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。

全国約10万組の親子が参加している、環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」。第4回目となる今回のシンポジウムでは、エコチル調査の結果から見えはじめた、アレルギーなどの子どもたちの健康状態や、子どもたちの成長発達に影響を与える可能性のある親の生活習慣について、専門家がわかりやすくお話しします。

### プログラム

<ファシリテーター> **本田 ともみ** 氏 日本科学未来館科学コミュニケーター

14:00-14:10 開会宣言~あいさつ 環境省

14:10-14:25 **エコチル調査のいま**

**川本 俊弘** 氏 エコチル調査コアセンター長

なんで  
10万組の親子なの?

14:25-14:45 **10万組の親子から考える アレルギーについて**

**大矢 幸弘** 氏 エコチル調査メディカルサポートセンター特任部長

ちがうかもしれない?  
これまでの常識

14:45-15:05 **10万組の親子から考える 子どもをとりまく環境について**

**山縣 然太郎** 氏 エコチル調査甲信ユニットセンター長

子どもといっしょに  
ケータイ何時間?

15:05-15:15 休憩(10分)

15:15-16:00 **【特別講演】10万組の親子から考える 子育てについて**

**尾木 直樹** 氏 教育評論家/法政大学教職課程センター長・教授

尾木ママが  
語ります!

16:00-16:10 エコチル調査からのメッセージ~閉会のあいさつ 講演者/環境省

※裏面...講演者のプロフィールとみなさまへのメッセージ▶

#### ★エコチル調査サポーターになりませんか?

メールマガジンにてエコチル調査の最新情報やお役立ち情報をお届けします。

ご登録方法については、右記をご参照ください。

PC版▼

<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/entry/>

モバイル版▶

エコチル調査

検索



## 講演者プロフィール

かわもと としひろ

「エコチル調査のいま」

### 川本 俊弘 氏

エコチル調査コアセンター長、産業医科大学医学部長

エコチル調査全体の指揮を執るコアセンター長。山口大学医学部卒業。米国ミシガン州立大学、カリフォルニア大学デービス校などを経て、現職、産業医科大学医学部教授。2008年小児環境保健疫学調査に関するワーキンググループ座長、2010年エコチル調査福岡ユニットセンター長、2012年コアセンター長、2014年産業医科大学医学部長に就任。

#### 川本先生から 一言メッセージ

エコチル調査は平成23年1月～26年3月の3年間に103,106名の妊婦様にご登録いただき、昨年末には、調査に参加していただくすべてのお子様が生誕されました。これからエコチル調査では、ご家族といっしょに、13歳になるまでお子様を見守っていき、子どもたちの健康に影響を与える環境要因の解明を行います。

おおや ゆきひろ

「10万組の親子から考えるアレルギーについて」

### 大矢 幸弘 氏

エコチル調査メディカルサポートセンター特任部長、  
国立成育医療研究センター生体防御系内科部アレルギー科医長

エコチル調査のメディカルサポートセンター特任部長。臨床医として日々、子どもの健康の改善に向けて尽力している。テレビや講演会にて、アレルギーに関する解説を行う機会も多数。名古屋大学医学部卒業。国立名古屋病院小児科医員、国立小児病院アレルギー科医員などを経て、現職。

#### 大矢先生から 一言メッセージ

いまや国民の半数以上が何らかのアレルギー疾患を経験する時代になりました。しかし、アレルギーの研究は急速に進んでおり、これまでの常識が変わってしまうような研究結果も報告されるようになってきました。エコチルは10万人もの大規模な研究ですので、より正しい情報が得られると考えられます。外国のコホート調査の結果を紹介するとともに、これからエコチルではどんなことがわかるようになるのかについてお話ししたいと思います。

やまがた ぜんたろう

「10万組の親子から考える子どもをとりまく環境について」

### 山縣 然太郎 氏

エコチル調査甲信ユニットセンター長、山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座教授

公衆衛生学、疫学、人類遺伝学が専門。地域で25年に及ぶ出生コホート研究を実施中。先端科学と社会との接点も研究テーマ。山梨医科大学卒業。米国カリフォルニア大学アーバイン校(UCI)小児科留学などを経て現職。「健やか親子21の最終評価等の検討委員会」など国の各種委員。「研究は住民に始まり住民に終わる」がモットー。

#### 山縣先生から 一言メッセージ

エコチル調査の主役は参加者の皆様です。積極的なご協力により、貴重な健康情報を蓄積し、それを解析することで、子どもの健康と環境について多くのことが解明されようとしています。参加者の皆様と研究者・事務局が一体となって、未来を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくりを科学の側面からお手伝いできればと思います。

おぎ なおき

特別講演「10万組の親子から考える子育てについて」

### 尾木 直樹 氏

教育評論家、法政大学教職課程センター長・教授、臨床教育研究所「虹」所長

(尾木ママ)



早稲田大学卒業後、私立海城高校、東京都立中学校教師として、22年間子どもを主役としたユニークで創造的な教育実践を展開、その後大学教員に転身。それらの成果は今日まで200冊を超える著書(監修含む)、ビデオソフト、映画類にまとめられている。「尾木ママ」の愛称で親しまれ、多数のメディアで活躍中。

#### 尾木ママから 一言メッセージ

未来を担う子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。10万組の親子が参加するエコチル調査の結果を踏まえ、安心安全な子育て・子育て環境について、参加者の皆さんと一緒に考える機会にしたいと思います。